

★ピックアップ!

新琴似歌舞伎、篠路歌舞伎

農村歌舞伎は、厳しい環境の中、電気が無い時代に娯楽として人々に演じられ、地域の団結や連帯意識を高める原動力にもなりましたが、昭和の初めには、映画など他の娯楽が流行し、その活動に幕を下ろしました。しかし、次の世代へ残したいという地域の人々の強い思いから、昭和60年(1985年)に篠路歌舞伎が、平成8年(1996年)には新琴似歌舞伎が復活し、地域の保育園や学校で演じられています。



新琴似歌舞伎



篠路歌舞伎



★★ピックアップ!
新川さくら並木

平成9年(1997年)に河川法が改正され堤防への植樹が可能となったため、平成10年(1998年)に地域念願のさくら並木事業が新川堤防沿いで開始されました。地域住民の熱意と、予想を超える地元企業などからの支援で、当初の予定より2年早い平成12年(2000年)4月に完成。手稲区側と合わせると桜並木の長さはなんと約10.5キロメートル。現在、札幌有数の桜の名所として知られています。

